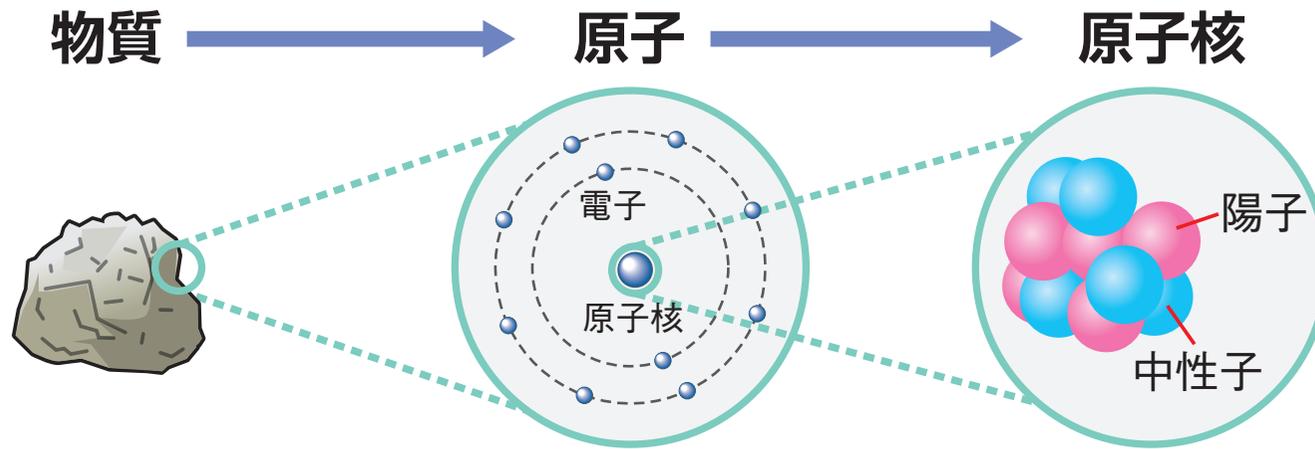
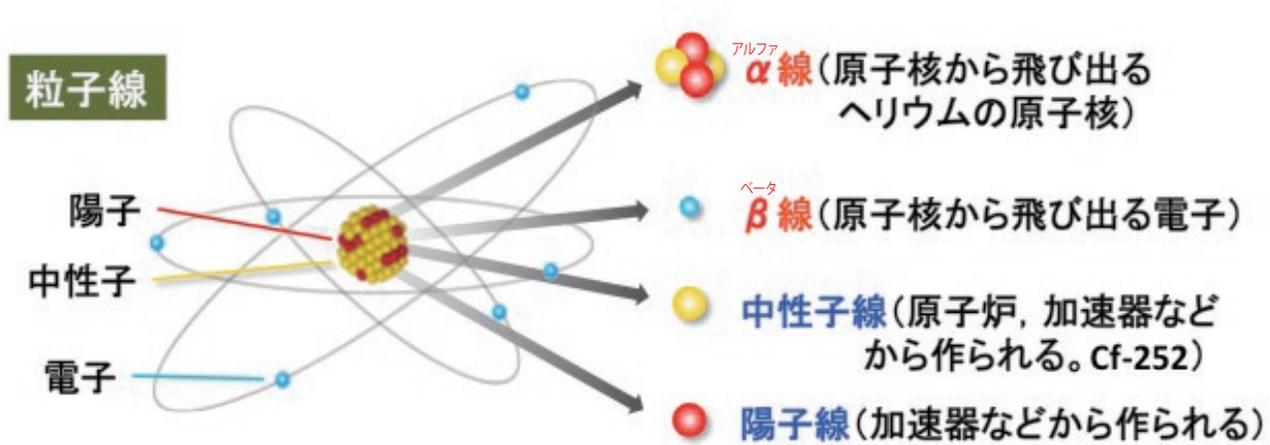


# 《原子と原子核》

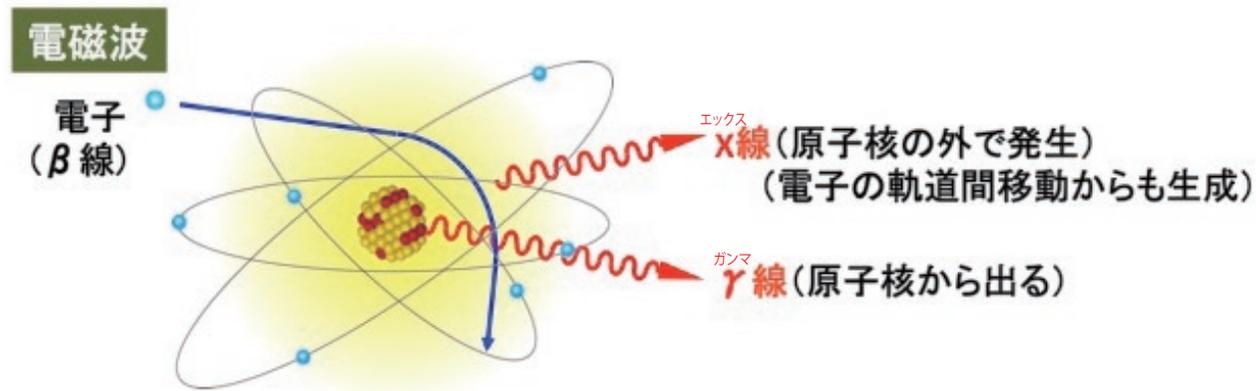


# 《小さな粒子が高速で飛ぶ放射線》



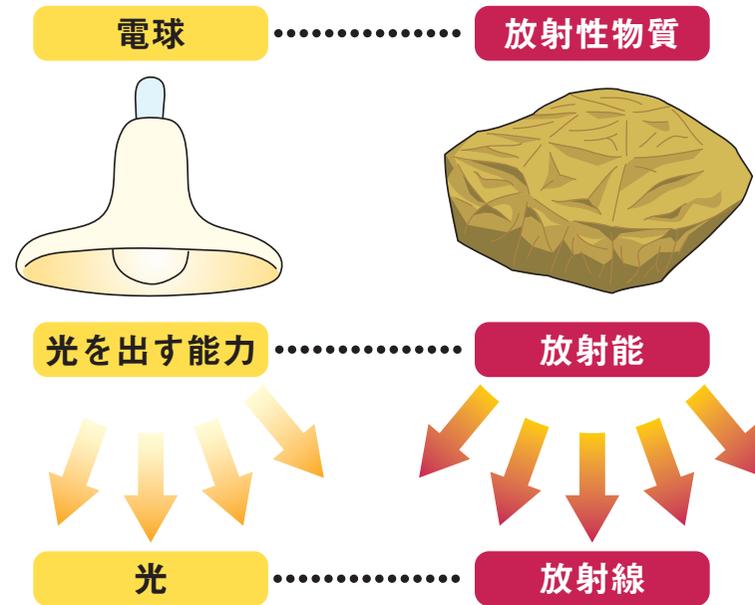
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.9)

# 《波のように伝わる放射線》

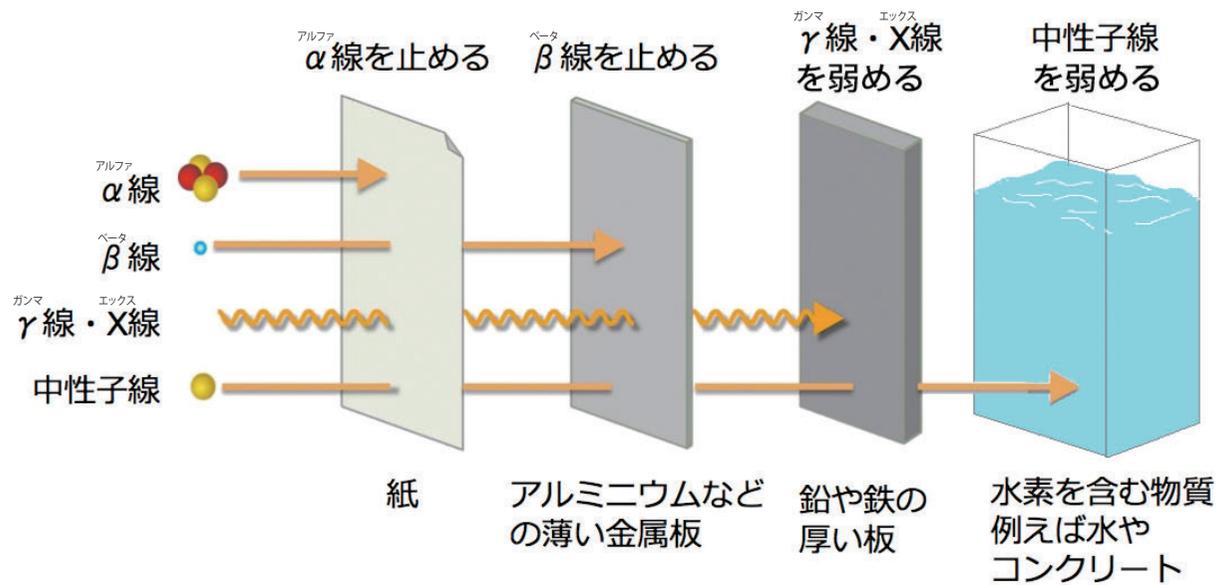


出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.9)

# 《放射性物質と放射能、放射線》

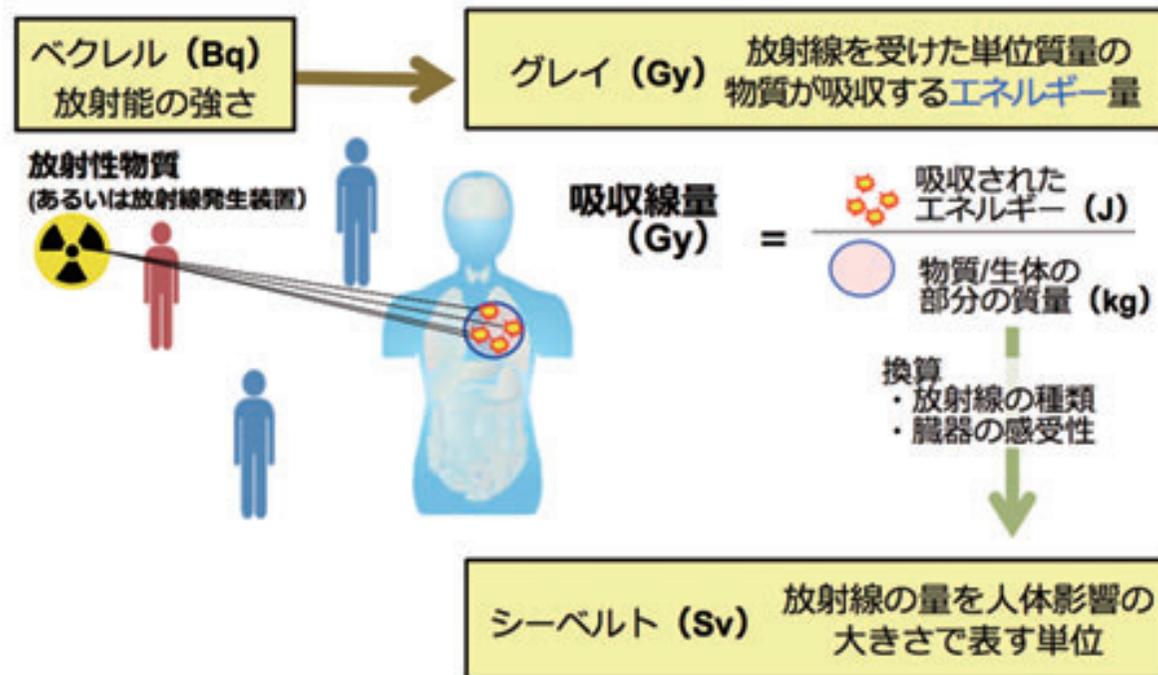


# 《放射線 放射線の透過力》



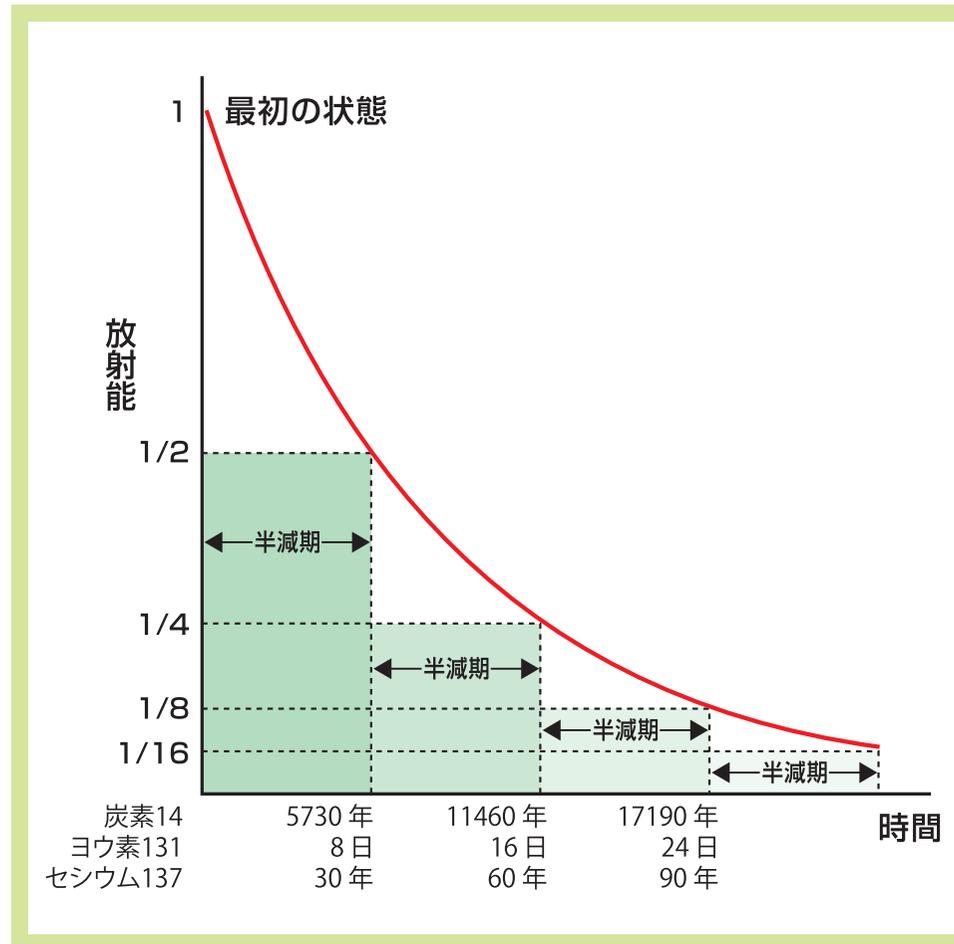
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.10)

# 《放射線の単位 単位間の関係》

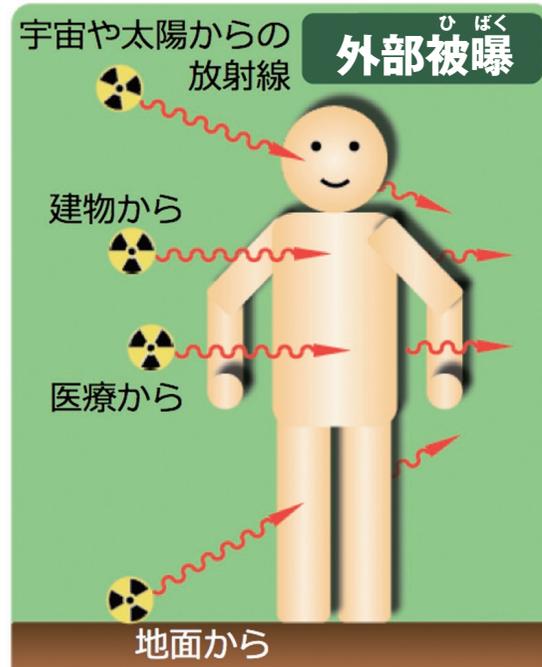


出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.10)

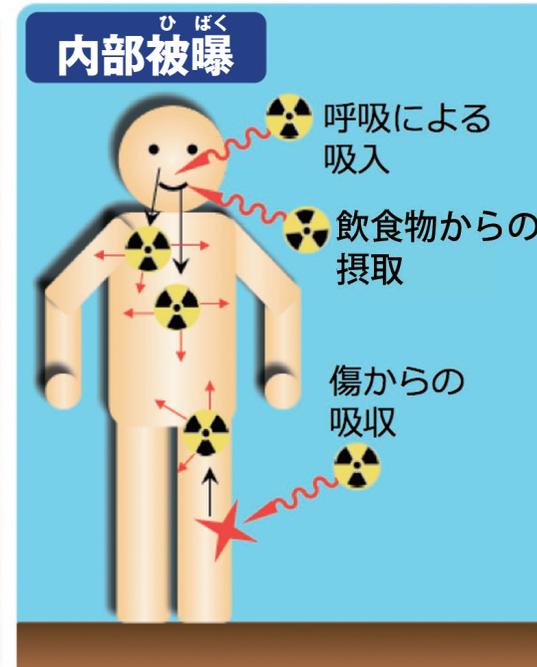
# 《放射性物質の半減期》



# 《被曝の経路 外部被曝と内部被曝》



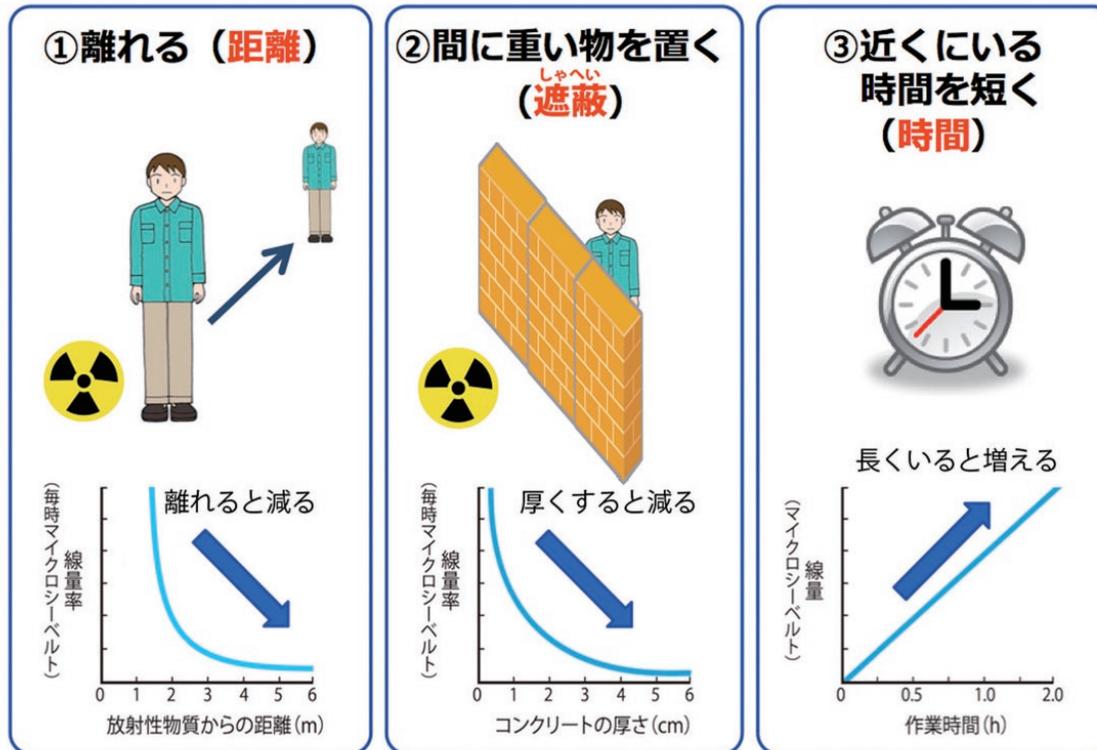
▶ 放射線源が体外にある。



▶ 放射線源が体内にある。

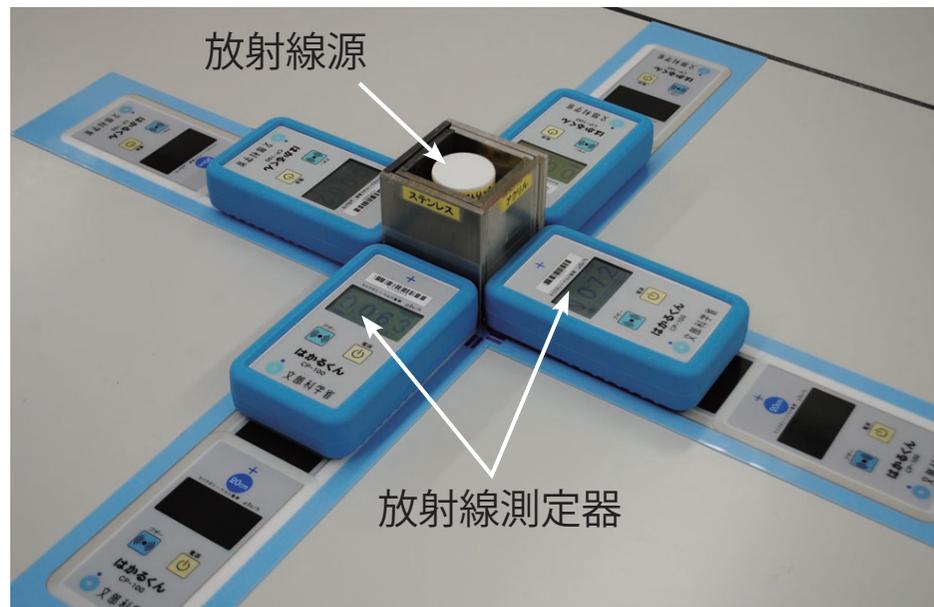
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

# 《線量低減 外部被曝<sup>ばく</sup>の低減三原則》



出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料  
平成 24 年度版 ver.2012001  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

# 《放射線源と測定器のセットによる実験》



# 《遮蔽用エプロン》

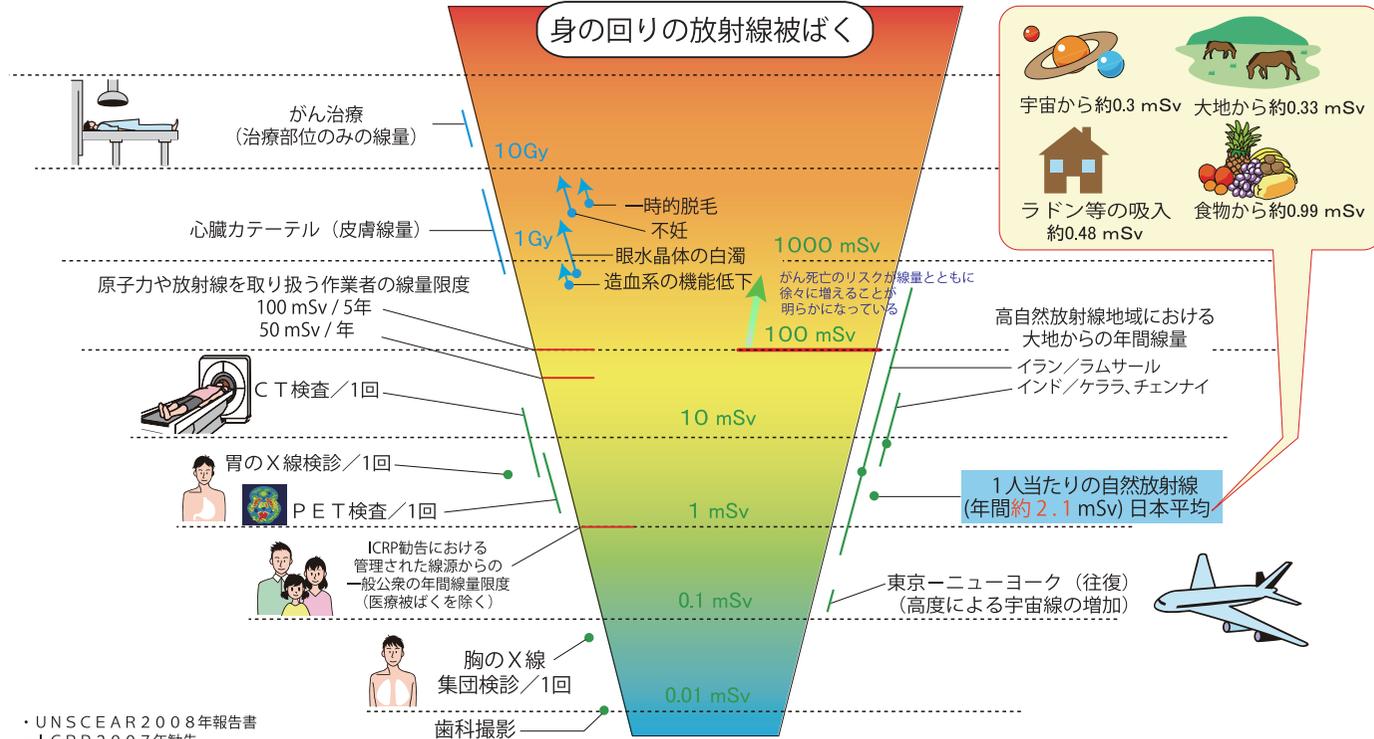


写真提供：アマナイメーヅ  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

# 《放射線被ばくの早見図》

## 人工放射線

## 自然放射線



・ UNSCEAR 2008 年報告書  
 ・ ICRP 2007 年勧告  
 ・ 日本放射線技師会医療被ばくガイドライン  
 ・ 新版 生活環境放射線 (国民線量の算定)  
 などにより、放医研が作成(2013年5月)

### 【ご注意】

- 1) 数値は有効数字などを考慮した概数です。
- 2) 目盛 (点線) は対数表示になっています。  
目盛がひとつ上がる度に10倍となります。
- 3) この図は、引用している情報が更新された場合  
変更される場合があります。

### 【線量の単位】

各臓器・組織における吸収線量: Gy (グレイ)

放射線から臓器・組織の各部位において単位重量あたりに  
どれだけのエネルギーを受けたのかを表す物理的な量。

実効線量: mSv (ミリシーベルト)

臓器・組織の各部位で受けた線量を、がんや遺伝性影響の感受性について  
重み付けをして全身で足し合わせた量で、放射線防護に用いる線量。

各部位に均等に、ガンマ線 1 Gy の吸収線量を全身に受けた場合、  
実効線量で1000 mSvに相当する。

独立行政法人 **NIRS**  
放射線医学総合研究所  
http://www.nirs.go.jp

Ver.130502

# 《非常時における放射性物質に対する防護》



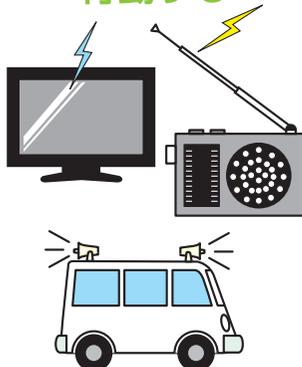
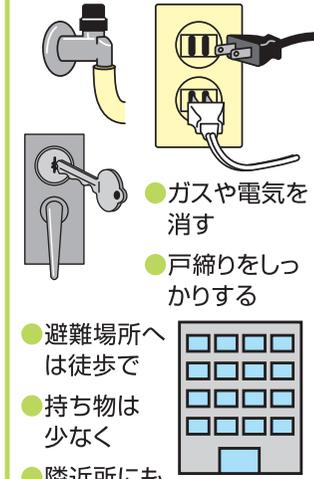
空気を直接吸込まない（マスクやハンカチで口をふさぎます）



食品に含まれる放射性物質の量に気を付ける

# 《退避・避難する時の注意点》

## 退避・避難する時の注意点

正確な情報を基に行動する	屋内退避	避難
 <ul style="list-style-type: none"><li>● 一斉放送、広報車、ラジオ、防災無線など</li></ul>	 <ul style="list-style-type: none"><li>● ドアや窓を閉める</li><li>● エアコン(外気導入型)や換気扇の使用を控える</li><li>● 外から帰って来たら顔や手を洗う</li><li>● 木造家屋より遮蔽効果が高いコンクリートの建物への退避指示が行われることもある</li><li>● 食器に蓋をしたりラップを掛けたりする</li></ul>	 <ul style="list-style-type: none"><li>● ガスや電気を消す</li><li>● 戸締りをしっかりする</li><li>● 避難場所へは徒歩で</li><li>● 持ち物は少なく</li><li>● 隣近所にも知らせる</li></ul>

退避と避難は、どちらも放射性物質から身を守ることであり、「退避」は家や指定された建物の中に入ること、「避難」は家や指定された建物などからも離れて別の場所に移ることです。